

第1回情報発信の在り方等に関する検討会-議事概要

1. 日時:平成 27 年 11 月 24 日(火)13 時 30 分～15 時 45 分
2. 場所:日本自動車会館 1 階くるまプラザ 第 4・5 会議室
3. 出席者(敬称略):永田座長、織、大石、稲垣、今田、播磨、泉水、徳永、千原、伊藤、酒井、中根、以上 12 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、
経済産業省・環境省担当官が出席

4. 議題:①情報発信の在り方等に関する検討の進め方について
②各関係主体が実施してきたこれまでの取組み及び課題等について

5. 議事録

(1)議題①について

情報発信の在り方等に関する検討の進め方について、事務局から、資料3にて説明した。

<主な意見>

特になし。

(2)議題②について

各関係主体が実施してきたこれまでの取組み及び課題等について、各関係主体から、資料4-1から4-10にて説明した。

<主な意見>

【出席者】

消費者に対しては、リサイクル制度を支える当事者として、その役割を認識してもらう必要があり、リユース部品を単に使うということだけでなく、例えばリサイクルプラスチックを原料として活用状況の観点や、負担いただくリサイクル料金の使途の観点でも情報提供が必要であると考え

【出席者】

何を目的として、どんな情報を誰が発信していくのか、という役割分担の整理が必要である。今回示された課題や関係主体の取組みの現状などを、事務局で整理してほしい。次回、それを基に議論したい。

【事務局】

了解した。

【出席者】

自動車ユーザーだけでなく、それを支えるバックグラウンドである社会、すなわち、一般市民向けの情報が必要であると考え。例えば、自動車リサイクルの目標、それに対する現況やこれまでの成果などを伝えていかなければならない。

【出席者】

自動車ユーザー向けと、一般市民向けに分け、さらに自動車の購入、使用、使用済みの各時点ごとの時間軸で必要となる情報についても整理が必要である。

【出席者】

各関係主体と所属会員の関係でいえば、各関係主体が組織として所属会員に向けてどういう情報を提供し、所属会員からどういう情報を取得し、それをどのように公表しているのかという点は組織の存在意義にも関わる。そういう点も含めて考えていかなければならない。

【出席者】

経済産業省などの調査によると、使用済み自動車の引渡価格の表示について、いくつか問題が示されていたと記憶している。例えば、「逆有償」という表現は、本当に逆有償の場合もあるのかもしれないが、切り分けずに運賃などを含めて逆有償と示されると、誤解を与えることに繋がる可能性があるということを共通認識としていただきたい。こうした用語についても、最低限のルール化が必要である。

【出席者】

一部の関係主体においては、組織としてCSRレポートを作成し公表していると思うが、このようなCSRや環境等に関するレポートの作成・公表を実施する時代がきたのではないかと思う。

【出席者】

第2回検討会の1番目の議題で、今回示された課題や関係主体の取組みの現状などを事務局が取りまとめ、整理した資料を下に議論する。その後にJARC情報発信機能の一層の発揮のテーマを審議することとしたい。

【事務局】

了解した。

【出席者】

地方自治体と関係機関との情報共有の観点で意見を述べる。地方自治体の自治法上の主な役割は、関連事業者に対しての許可と、許可に伴う各種行為義務が行われていることを指導・監督することだが、本検討会で示された自動車リサイクルの様々な情報が不適正処理の端緒を見つける上で非常に重要・有用なものであることを再認識した。そういう意味で、地方自治体から様々なニーズを汲み取った上で情報システムの改善に繋げてほしい。

【出席者】

市民にも役立つ情報発信ニーズ、行政同士が共有したい情報などを出していくような地方自治体の集まりはどのようなものがあるのか。

【出席者】

次回の検討テーマのシステム改善ニーズの把握については、全国の自治体からも要望を聞いておいてほしい。

【事務局】

国、地方自治体や関係者が参加し、地方自治体が業務を行う上での課題等を共有する行政連絡会議が定期的開催されている。この他にも関係者が集まって課題解決に向けた具体的な検討を行うことを今後予定しており、この場にもフィードバックを行っていききたい。

【出席者】

市民からの意見という点では、JARCが行った消費者懇談会やELV機構が行った消費者からの意見聴取について、次の検討会においてその内容を紹介してほしい。

【事務局】

了解した。

【出席者】

あらゆる世代が集う東京モーターショーを視察して気になったが、燃費や次世代車の情報はあったが、3Rに関する情報がなかった。残念に思う。

【出席者】

東京モーターショーに出展する自動車メーカー各社には様々な社内事情があり、また各種ニーズに優先付けを行いながら対応している状況にある。少しでも優先順位を上げて展示アイテム

にすることが、これからの課題と認識している。

【出席者】

基本的に燃費も環境配慮設計も環境情報の一つとして、関連づけを行って情報提供を活発化してほしいと思う。

難しい事情があるかもしれないが、環境問題の扱いで、トピックス的な部分を中心に対応しているために、その周辺が抜け落ちてしまっているという感じがする。

もう一度その辺りを振り返り、「環境」への対応の考え方を整理して議論したい。

以上